

## 数学教育における多様性と合理的配慮

[Mamoru.itou@nifty.com](mailto:Mamoru.itou@nifty.com)

2024.05.13

今年は、理科と情報の授業はお役御免。高3の数学Bと中3の数学を担当しています。

先日の中3の数学の授業（対象は肢体不自由児二人）で、興味深い事がありました。分数の計算が怪しい二人だったので、

「今日は、分数の復習からやります」といったら、二人は・・・

「先生、なめてます？」と。(^^♪

「なるほどねえ・・・」と私。(^^\_-)☆

「では、分数の割り算は逆にしてかけるよね。もし、弟とか妹がいたら、なぜそうなるか説明してみて」に対して、二人は・・・

数学の面白い所は、たくさんの事柄を覚えなくても、基本的なことから推論していけば、たくさんさんのことを推論していけるところにあると思っています。ただ、二人の場合、基本的な理解力はあるものの、細かい筆記ができてにくい（なんとか鉛筆で筆記は可能ですが、分数とかべき乗などの細かい数字などを正確に書くのは難しい）ので、細かい推論は苦手のように思います。つまり、細かい部分は書きながら考え推論していく・・・二人の場合、そこに難がある。

私の場合、これまで二人の理科の授業を担当したことはありましたが、数学の授業は今年がはじめて。理科の場合は、ある実験に対してその内容が理解でき予想を立てることが出来れば、その実験結果をもとに、推論を次々に深めていくことが可能になるので、細かく書く作業というのは数学ほどには必要とはならない。でも、数学の場合、上述したような理由により、**理科の授業以上に丁寧な書きながらの作業**（この作業こそが、「書くという作業をすることで、書き加えた・あるいは変更を加えた内容を確認することで、フィードバックを受ける」という意味で、科学における「実験」と同等の意味を持つ）が必要な場合もある…そんな風に思っています。

というような理由からいくつかのツール（アプリ）を使って、作図とか数学記号を正確に記述する作業をしながら授業をすすめています。

<https://apps.apple.com/jp/app/grapes-light/id1437354864>

<https://apps.apple.com/jp/app/mathmagic-lite-for-ios/id770212146>

<https://apps.apple.com/jp/app/modmath/id821892964>